


お花の栽培シリーズ「ペチュニア」






2007年4月	卯月(うづき)・卯花月(うのはなづき)・鳥月(とりづき)・花残月(はなのこりづき)・夏初月(なつはつき)・余月(よげつ)	●春まき草花の種子まき時期
心待ちにしていた季節の到来です。庭は、活気づき、華やいだ雰囲気があふれます。病害虫の発生が、盛んになる時期でもあるので、防除の手入れは 早めにしましょう。		
庭木の作業	・ウメやサクラにウメムシが発生する前に、害虫駆除を定期的に行いましょう。 ・落葉樹を「とり木」でふやすなら、この時期に行いましょう。	
草花の作業	・春まきの草花を まき終える ・病害虫の発生がさかんになるので、早めの予防をしましょう。	

今月の誕生花	チューリップ・デージー・ワスレナグサ	
今月の花	<p>スモモ 花言葉 / 誤解</p> <p>花言葉の「誤解」は、「李下(りか)に冠を正さず」の中国のことわざから生まれました。 おいしい実をつける スモモの木の下で冠を直すために 手を持ち上げると スモモ泥棒に まちがえられる・・・そのようなことは しないほうがよい・・・という意味のことわざです。 誤解をとくために おいしい スモモの鉢植えを プレゼントするのも いいかもしれませんね・・・。 中国原産のスモモは、奈良時代には、もう、日本で果樹として栽培されていたようです。 「万葉集」にも スモモを詠んだ歌が残されています。</p> <p>ただし、この時代には 食用としてよりも、薬用種として栽培されていたほうが 多かったようです。 果樹として、日本では、大石早生・ソルダム・サンタローザの3種が主要です。 また、プルーンは、セイヨウスモモの仲間です。ドライフルーツに適したものの総称だそうです。</p> <p>原産地は中国。バラ科サクラ属の落葉中高木。丈は3m以上。開花時期は4～5月。最盛期は4月。葉の形状は、互生、有柄、長さ7cmくらいで、表面の主脈に沿って 毛がある。花色は、白～桃。英名ジャパニーズプラム (Japanese plnm)。米桃(よねもも)、牡丹杏(ぼたんきょう)。</p> <p>スモモとは「酸っぱい桃」という意味でつけられた・・・という説もありますが、最近のスモモは、改良のおかげで 生で食べても甘酸っぱくておいしくなりました。</p>	

# お花の栽培シリーズ

今月の花

ペチュニア

日当たり  日なた	水やり  ふいふう	気温  20~25℃	草丈  30~50cm	花色 
--	--	---	--	--

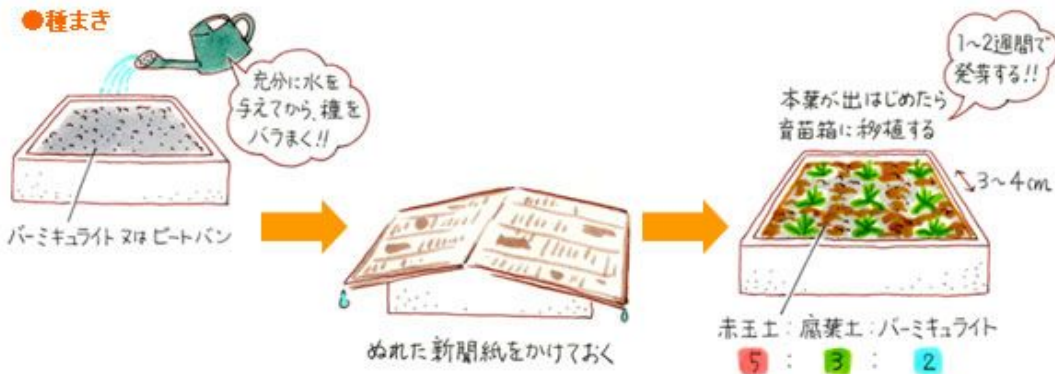


花期が長く花色も豊富なことから広く栽培されている品種です。鉢植えで育てるのもいいですが、花壇やプランターに寄せ植えした方が見ごたえがあります。半つる性ですから、ベランダなどで栽培すると茎が垂れ下がり、外から見たときにもきれいです。蒸れないように水はけのよい用土に植えつけ、風通しのよい場所で水をたっぷり与えれば簡単に育てる事ができます。

だらしくならないように 伸びすぎた茎は切戻して整え、水やりを控えます。真夏などで株の勢いがなくなったときでも、切戻して 風通しをよくしてやります。



## ●種まきからの育て方



## ●植えつけの やり方



## ●年間スケジュール

